



No. 50

1991. 10. 4

佐賀大学情報処理センター

内線 (2592)

1. 九大大型センターのSAS/GRAPHの利用について

1. 九大大型センターのSAS/GRAPHの利用について

センター・ニュースNo. 46でも紹介しましたとおり、N1がグラフィックスをサポートしましたので、九大大型計算機センターのSAS/GRAPHで作成されるグラフを画面に表示出来るようになりました。

SAS/GRAPHが利用できる環境は、以下のとおりです。

- (1) 学内LANで接続されているPC98シリーズのパソコン
- (2) テクトロ4010をサポートしているエミュレータNICAで本学センターと接続した場合

上記以外での環境では、SAS/GRAPHで作成したグラフを画面に表示することは出来ません。

また、SAS/GRAPH以外にもGKS85, ANALYST, PSPなどが利用できます。詳しくは、九大大型計算機センター広報 Vol.23 No.4の「グラフィックツールによる図形出力ガイド」(P323)を参照してください。

1-1 SAS/GRAPHサンプル・プログラムの修正について

九大大型センターには、SAS/GRAPHのサンプル・プログラムが用意されていますので、それをコピーします。次に、作成したグラフを画面に表示できるようにGO

PTIONSステートメントを修正します。

この作業を行う場合は、CEOCONNECTIONエミュレータで本学センターに接続し、J6650エミュレータで九大大型センターと接続してください。

) J6650 ↵

JCETO10 SYSTEM READY

LOGON TSS 課題番号/パスワード ↵ (九大大型センターのセッション開設)

READY

COPY 'LIB.SAMPLE.SAS' SASTEST.DATA ↵ (サンプル・プログラムをコピー)

READY

E SASTEST.DATA ↵ (エディタを起動する)

E

FS ↵

このサンプル・プログラムの中にグラフの出力先を指定するGOPTIONSステートメントがあります。これを下記のように修正します。

GOPTIONS DEVICE=TEK4010 DISPLAY

F3 キーを押す

END S ↵ (データセットをセーブする)

READY

LOGOFF ↵ (九大大型センターのセッション終了)

JCETO10 SYSTEM READY

* **CTRL** + **SHIFT** + **F15** キーを押す (J6650エミュレータの終了)

) BYE ↵ (本学センターのセッションの終了)

*について：RX,RA以外のPC98は、F15キーの代わりにテンキーの/キーを押してください。また、キーとキーの間の±はキーを押したままという意味です。

GOPTIONSステートメントの記述については、九大大型計算機センター広報Vol.23 No.4のP356を参照してください。

上記作業が終了したら、NICAエミュレータを起動し、再度本学センターと接続します。

1-2 SAS/GRAPHの利用手順

NICAエミュレータで本学センターと接続し、N1のグラフィックス機能を使ってSAS/GRAPHを利用する手順を紹介します。

N I C Aを起動し、カーソルが画面左上に表示されたらリターン・キーを押す。

ECS99) C CENTER ↵ (センターの計算機と接続するためのコマンド)

connect : Connection complete

*** / Press NEW-LINE to begin logging on ***

リターン・キーを押す。

ユーザー名とパスワードを入力し、セッションを開設する。

) (プロンプト表示)

GRPH + T キーを押してテクトロ4014エミュレータを起動する。

画面の文字が小さくなり、プロンプトが消る。

N1 ↵ (N1の起動)

Which Host No.? 1 ↵ (九大を選ぶ。)

TERMINAL MODE(1:BASIC 2:GRAPHIC) ? 2 ↵ (グラフィックスを選ぶ。)

九大課題番号とパスワードを入力し、セッションを開設する。

READY

SAS DA(SASTEST.DATA) ↵

9つのグラフが表示される。

グラフをファイルに保存する場合は、COPY キーを押す。

READY

LOGOFF ↵

)

GRAPH + Q キーを押す。(テクトロ4014を解除)

) BYE ↵

CTRL + HOMECLR キーを押す。(N I C Aの終了)

A)

N I C Aのグラフィック機能(情報処理センター広報第2号P.50参照)は、画面に表示されたグラフは直接プリンターに出力することができません。

いったんファイルに保存し、グラフィック・データファイルの出力プログラムNGT.EXEを使用してプリント・アウトします。

画面に表示されたグラフは、**COPY**キーを押すことにより、ワーク・ファイルに保存することができます。

グラフを保存し、九大のセッションを終了すると自動的にN1も終了しますので、テクトロ4014エミュレータを解除します。

解除する場合は、**GRPH**キーを押しながら**Q**キーを押します。そうすると画面の文字が大きくなります。

1-3 NGT. EXEの使い方

ファイルに保存したグラフをプリンターに出力させるためのプログラムNGT. EXEの使い方を紹介します。

NICAエミュレータをAドライブから抜き、NGT. EXEのディスクをAドライブにセットします。

A) **NGT S** ↓
画面がクリアされたら、**ESC**キーを2度押す。
画面下にファンクション・キーの機能が表示される。

作画する場合は、**F・2**キーを押します。すると、ファイル名を聞いてきますので、ファイル名を入力します。ファイル名には、必ず、**NGT**を付けてください。

画面にグラフが表示されたら**F・8**キーを押し、プリンターにグラフを出力します。**F・8**キーを押すとプリンターの種類を聞いてきますので、それに答えるとプリンターに出力します。

(1) ファンクション・キーについて

ファンクション・キーには以下のような機能が設定されています。

ファンクションキー	機能
F・1：保存	画面上のグラフィックデータをファイルにセーブ
F・2：作画	ファイルからグラフィックデータを読んで画面に表示
F・3：テクトロ	テクトロ4014エミュレータモードを実行
F・4：環境	グラフィック環境の各種設定
F・5：画面CL	画面のクリア
F・6：Fクローズ	ファイルのクローズ
F・7：SHELL	command.comの実行
F・8：HDcopy	画面のハードコピーをとる
F・9：NEXT	作画実行中にファイルから次の一画面分のデータを読み込む
F・10：終了	NGTの終了